

令和3年 5月「月報」

1 はじめに

4月5日からの3府県に引き続き他の都府県でも「まん延防止等重点措置」が続く中、4月23日、政府は、新型コロナウイルス感染拡大が止まらない東京都、大阪府、京都府、兵庫県に対し3度目の緊急事態宣言（4月25日～5月11日予定）を発令しました。

2年続けてゴールデンウィーク期間中の緊急事態宣言に、「またか」「もう少し早く宣言を出して欲しい」など落胆と諦めの入り混じった国民の声がTV報道等で聞こえてきます。

一方、自衛隊はコロナ禍にあってもわが国防衛のための訓練や豚熱等の災害派遣を淡々と行うとともに、コロナ対策を工夫した入隊・入校式を全国各地で挙行し、大事な人材の育成にも努めています。

本会も、去年は定期総会延期や一部事業の中止などコロナ対応に終始した1年でした。令和3年度開始早々の緊急事態宣言に「今年もか」と半ば諦め感が漂う中、創意をもって主要事業を推進し、自衛隊(隊員)を応援してまいります。

2 防衛省・自衛隊の活動

(1) 防衛大学校・防衛医大学校で2年ぶりの入校式

4月5日、防衛大学校（横須賀市）の入校式が、中山防衛副大臣出席のもと行われ本科学生と研究科学生の計605人（本科第69期学生502人、9カ国からの本科留学生23人、研究科学生80人）が新たな一步を踏み出しました。

去年はコロナ禍で中止となり、2年ぶりの入校式は、ご家族の参加を見合わせるなど規模を縮小して開催されました。

4月1日に就任した久保文明学校長は、式辞で「身につけて欲しいのは、今後直面しうるいかなる現実の変化にも正面からぶつかっていく知的な強靱性と意欲・好奇心であり、また変わりゆく現実を柔軟に分析し適確に把握していく知的な基盤・基礎あるいは土台だ」と強調しました。

中山防衛副大臣は、「自衛隊の役割をどう考えるか、国民の信頼と期待をどう受け止めていくか、学びを通じてそれぞれの立場で探求してほしい」と訓示しました。

また、4月7日には、昨年実施できなかった防衛医科大学校（所沢市・四ノ宮成祥学校長）の入校式も、大西防衛大臣政務官が出席して行われました。入校生の内訳は、医学科と看護学科の計203人です。



防衛大学校入校式の様子

(2) サイバー・電磁波能力を獲得・強化する部隊の新編

ア サイバー防護隊の新編

3月18日、陸上自衛隊システム通信団の隷下にサイバー防護隊（隊長・西田貴之1等陸佐）が、新編され、市ヶ谷駐屯地で編成完結式が行われました。これまでのシステム防護隊を強化しサイバー防護力の一層の向上を図っています。



サイバー防護隊の編成完結式

イ 301電子線中隊の新編

3月18日、陸上自衛隊は電子戦を専門とする新たな部隊「第301電子戦中隊」（中隊長・駒形真一3等陸佐）を健軍駐屯地（熊本市）に発足させました。

隊員約80人で、最新式の「ネットワーク電子戦システム」を装備します。

平時から相手の通信やレーダーで使用される電磁波の周波数を把握し、有事には同じ周波数の電磁波を発射して混信を起こさせ、複数の部隊が連携するための通信を妨害したり、また味方の電磁波利用を防護するものです。

(3) 家畜伝染病CSF（豚熱）の発生に係る災害派遣

4月以降、各地で豚熱が発生し、自衛隊の災害派遣活動が続いています。

ア 12旅団災害派遣

4月2日から8日までの間、群馬県知事からの要請を受け、第48普通科連隊（相馬原駐屯地）を基幹とする部隊が群馬県前橋市に所在する養豚農場での豚の殺処分（約1、300頭）等の支援に係る災害派遣を実施しました。

イ 10師団災害派遣

4月14日から17日までの間、三重県知事からの要請を受け、第33普通科連隊（久居駐屯地）を基幹とする部隊が、三重県津市に所在する養豚農場での豚の殺処分（約10、000頭）等の支援に係る災害派遣を実施しました。

ウ 12旅団災害派遣

4月17日から20日までの間、栃木県知事からの要請を受け、第12特科隊（宇都宮駐屯地）を基幹とする部隊が、栃木県那須塩原市に所在する養豚農場での豚の殺処分（約9、000頭）等の支援に係る災害派遣を実施しました。

(4) 群馬県みどり市における山林火災に係る災害派遣

4月22日、群馬県知事から第12旅団長への災害派遣要請に基づき、第12ヘリコプター隊（相馬原駐屯地）及び第1ヘリコプター団（木更津駐屯地）が、CH-47×4機をもって空中消火活動を実施しました。23日夜、山林火災鎮火に伴い、群馬県知事からの撤収要請に基づき、活動を終了しました。

(5) コロナ禍でも創意工夫し全国各地で入隊・入校式の挙行

4月以降、①屋外での入隊式の実施、②隊員同士の離隔、③来賓やご家族の参列の制限などあらゆるコロナ感染防止対策を工夫し、新入隊員の晴れの門出を祝う入隊・入校式が全国各地の教育部隊等で挙行されました。その一部を写真で紹介します。

【屋外での入隊式】



中方混成団（大津）



航空教育隊（防府南）



第34普連（板妻）

【3密回避のための隊員同士の離隔】



第8高射特科群（青野ヶ原）



横須賀教育隊（横須賀）



第12飛行教育団（防府北）

3 家族会の活動

(1) 東京オリンピック、北京オリンピック参加選手（自衛隊）への激励

4月19日、伊藤会長及び土谷事務局長が、豊田体育学校長を表敬訪問し、オリンピック参加選手への激励を行いました。

東京オリンピックがコロナ禍の影響で1年延期されたことに伴い、各県家族会には激励のための募金を元年度から2年間にわたりお願いしました。

また、令和4年2月には、北京オリンピック（冬季）が開催されることもあり、当日は両オリンピック参加選手への激励としました。

残念ながらコロナ禍のため、オリンピック参加選手への直接の激励は叶いませんでしたが、メダル獲得有望選手のお話を豊田学校長から伺うことができました。

各県家族会には心温まる募金協力に感謝申し上げます。なお、6月の総会において募金及び激励の細部をご報告いたします。



記念写真（中央伊藤会長、右2豊田学校長）

(2) 中東地域情報収集活動水上部隊（第5次隊）への激励

4月15日、長崎県自衛隊家族会（浦田正会長）は、中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動のため派遣される水上部隊の護衛艦「あきづき」（第5次隊）への本会からの慰問・激励を担任し、派遣隊員全員のご活躍と無事の帰国をお祈りしました。

当日は浦田正長崎県家族会会長、古達満雄同副会長、川上幸孝同副会長、横尾博道同事務局長の4名が、第5護衛艦隊司令長村久光1等海佐及び「あきづき」艦長の中澤憲弥2等海佐に激励品を贈呈しました。

4月18日、大西防衛政務官はじめ多くの隊員に見送られ、護衛艦「あけぼの」は、佐世港（保倉島岸壁）を出港しました。



長村第5護衛隊司令に激励品を贈呈



派遣隊員に訓示する大西防衛政務官

(3) MF0 司令部要員への激励

シナイ半島でエジプト・イスラエル間の停戦監視等の活動を行う多国籍部隊・監視団（MF0）の第3次司令部要員として、5月中旬に出国予定の林田賢明^{よしあき}2等陸佐及び原泰^{やすし}3等陸佐の両名に対して、4月26日（月）本会からの激励・慰問品（目録）を土谷事務局長から贈呈し、1年間にわたる現地での活動を激励しました。



司令部要員に激励品贈呈

(4) 家畜伝染病CSF（豚熱）の発生に係る災害派遣部隊の激励（栃木県家族会）

那須塩原市で確認された「家畜伝染病CSF（豚熱）」の殺処分のため 4月17日（日）から災害派遣中の混成部隊（第12特科隊及び第307施設隊）激励のため、栃木県家族会（小泉克彦会長）は、4月19日（月）、宇都宮駐屯地を訪問し、第12特科隊第2中隊長に激励品を贈呈しました



激励品を贈呈する小泉会長

(5) 令和3年春の叙勲受章者の紹介

4月29日、令和3年春の叙勲受章者が発表され、次の会員が受賞されましたので紹介します。

氏 名	主 要 経 歴（防衛省）	受 章 勲 章	家 族 会 で の 役 職
浦山 長人	元航空自衛隊補給本部長	瑞宝中綬章	元本部理事、監事 現埼玉県家族会入間支部顧問
宗像 久男	元陸上自衛隊東北方面総監	瑞宝中綬章	元本部副会長、運営委員長 現本部理事

4 事務局からの連絡・お願い

(1) 令和3年度定期総会・表彰式・第2回理事会の概要

ア 時期：6月15日（火）13：00～17：00

イ 場所：グランドヒル市ヶ谷

ウ 総会

（ア）議題

第1号議案：令和2年度事業報告（案）

第2号議案：令和2年度収支計算書（案）及び監査報告

第3号議案：辞任理事の後任選任（案）

（イ）報告

報告1：令和3年度事業計画

報告2：令和3年度分担金

報告3：令和3年度収支予算書

（令和3年度資金調達及び設備投資の見込み含む）

報告4：令和2年度「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告

報告5：「問い合わせ窓口」年間実績報告

報告6：東京オリンピック・北京オリンピック参加者等への激励報告

エ 表彰式

オ 令和3年度第2回理事会

第1号議案：辞任業務執行理事の後任選任（案）

報告1：運営委員の退任

報告2：会長及び業務執行理事の業務報告

(2) 令和3年度募集協力者会同

6月16日（水）に予定していた募集協力者会同は、コロナ感染防止のため中止となりました。

（このため、募集協力のための資料は、別途送付いたします。）